

## 環 境 報 告 書

令和 4年 11月報告

事業所名	富士コムテック株式会社		認定 ランク	☆☆	
概 要	所 在 地	長野県松本市島立 1132 番地 26			
	代 表 者	代表取締役 宮尾 文夫			
	概要 (従業員数・ 事業内容等)	・従業員数 全社 40 名（松本：18 名） ・事業内容 【情報・通信機器システム販売／電気通信工事業／消防施設 工事業／電気工事業など】			
	担 当 者	所属	本社	名前	吉江 俊朗
	連 絡 先	電話	0263-40-5522	FAX	0263-40-5532

○ 環境に配慮した取組み内容

環境に対する理念・方針	会社経営方針をもとに全社員が地球環境問題に取り組み、以下の指針に従いその目標達成に向けて継続的改善に努める 1、事業活動において、関連する環境の法規制やコンプライアンスを遵守する 2、当社の事業活動（特に電気通信工事等）が環境に与える影響を考慮し、またエネルギー使用量など環境データを常に測定し、CO2削減などその改善計画を策定し、実行する。 3、環境経営方針は全社員に周知し、定期的な教育を行い、環境意識の向上に取り組み、環境経営の継続的改善を行ないます。
環境に関する取組み目標	別紙 1 環境経営目標 を参照ください(エコアクション 21レポートより)
具体的な取組み内容	別紙 2 環境経営計画 を参照ください(エコアクション 21レポートより)
実施結果（成果）	別紙 3 環境経営計目標の実績と評価 1) を参照ください (エコアクション 21レポートより)
課題・問題点と その改善に向けて	別紙 3 環境経営計目標の実績と評価 2) を参照ください <u>改善に向けて</u> 別紙 4 経営者の全体評価と見直し・指示を参照 (エコアクション 21レポートより)
その他、 アピールポイント等	1) 長野県 SDGs 推進企業に登録し、活動を推進中 2) eco オフィスマつもの認定ラングアップ に向けて活動推進中 3) 諏訪湖クリーンプロジェクトへの参画

別紙添付・・・別紙 1～4

【別紙 1】環境に関する取組み目標

環境経営目標（中長期）

目標設定：2022年3月19日

2021年実績を踏まえ、2022年以降の中長期目標を示す

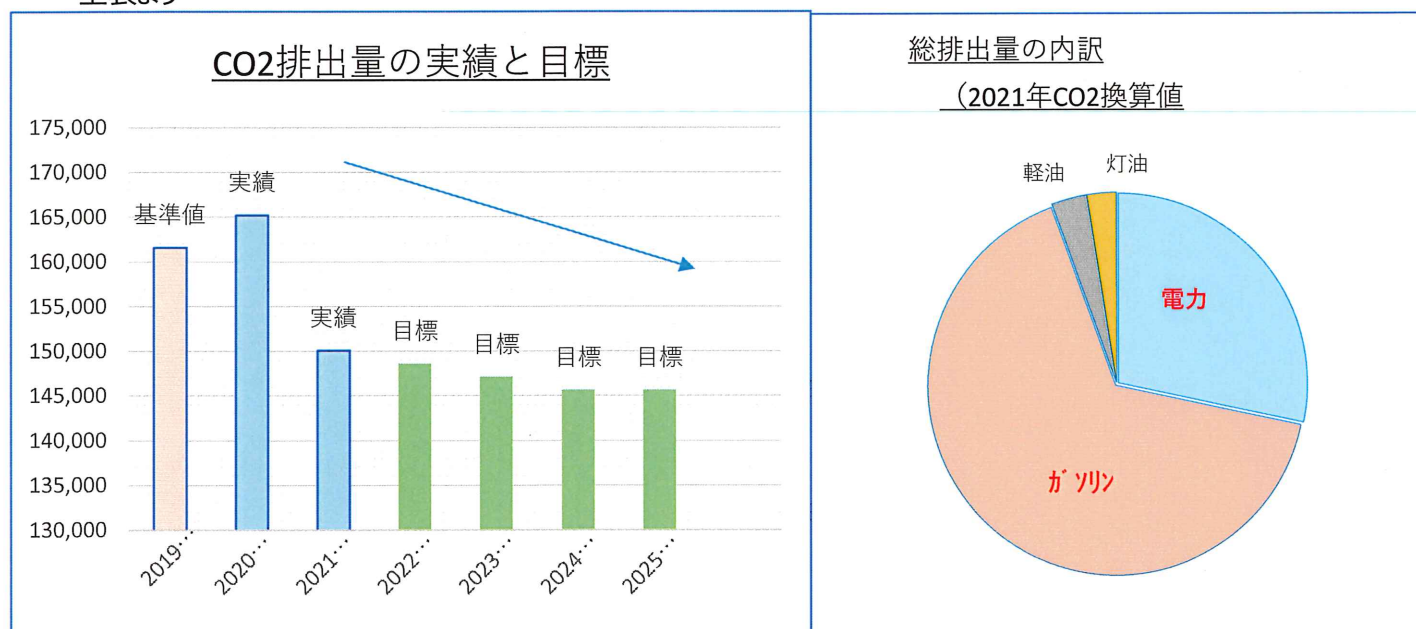
期間：毎年度 2/1～1/31

項目	単位	基準値	実績			4年間中長期目標 ⇒				備考
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	161,595	165,219	150,080	148,579	147,093	145,622	145,622	
		(%)	100%	102%	91%	99%	99%	99%	99%	
	電力(注)	kWh	101,844	103,555	90,454	89,549	88,654	87,767	87,767	重要°イト
	ガソリン	ℓ	46,515	47,051	42,675	42,248	41,826	41,408	41,408	重要°イト
	軽油	ℓ	1,688	1,949	2,357	2,333	2,310	2,287	2,287	
	灯油	ℓ	1,316	1,688	1,641	1,625	1,608	1,592	1,592	
	プロパンガス	m3	4.5	7.50	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	長野のみ
廃棄物	一般	可燃ごみ	kg	384	384	384	384	384	384	
	産業廃	混合	kg	6,470	14,089	16,380	16,216	16,054	15,893	15,893
水削減	水使用量	m³	564	560	612	605	605	605	605	
		(%)	100%	100%	100%	99%	100%	100%	100%	
化学物質	-	業務上、使用していない								
環境に配慮した施工	取組み無し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工に使用する資材をECO対応製品の使用を優先する</li> <li>・近隣への騒音・粉じん飛散防止に努める</li> </ul> 2020年7月より取組み ISOの施工品質計画書に盛り込み実施 その件数を増加させる（前年比102%目標）								
グリーン購入	資材や事務・消耗品などの購入はグリーン購入に配慮する									

注)中部電力(株) 2018年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.452kg-CO2/kWhを使用

注) ...前年比減少（改善） ...前年比増加（検討を要す）

上表より



・総排出量の94.4%をガソリン／電力が占めている！



【別紙 2】具体的な取組み内容  
**環境経営計画**

1) 計画 (実施内容・手段・日程・担当/責任者など)

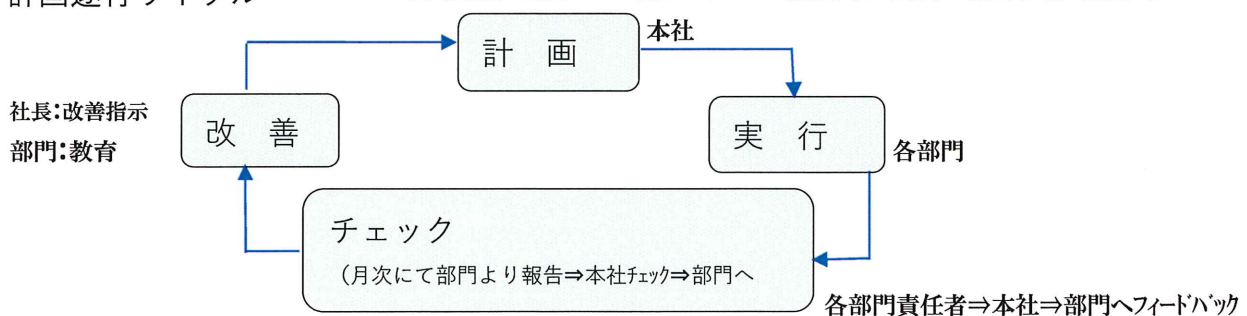
期間：2022年2月1日～2023年1月末

計画項目	手段 (実施の具体的方法)	日程												責任者		
		2022年											2023			
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			
CO2・二酸化炭素排出量削減について	電気使用量の削減	節電の徹底	→ 事務所内…外出時/不在時の消灯徹底する	←————→												部門責任者
		→ 事務所/倉庫の不要照明・不要換気扇オフ	←————→												部門責任者	
	0A機器適正管理	→ 未使用時電源オフ・節電モードの徹底	←————→												部門責任者	
	エアコン温度管理の徹底	→ 夏季26℃～28℃					←————→							部門責任者		
	エアコン・ヒーター使用の管理	→ 冬季18℃～22℃での調整・管理	←————→								←————→			部門責任者		
	退社時電源チェック	→ 目視確認	←————→												部門責任者	
	クールビズ/ウォームビズの徹底	→ クールビズ：毎年5月から10月まで実施 ウォームビズ：11月より3月	←————→									←————→		管理責任者		
	ガソリン/軽油使用量の削減	エコドライブの実施	→ 急発進・急停止排除、経済速度の励行	←————→												部門責任者
		アイドリングストップの実施	→ エンジン停止、空ふかし排除	←————→												部門責任者
		運行車輛の削減	→ 乗り合わせなどにより運行車輛を減らす	←————→												部門責任者
車両管理の徹底		→ 車両点検、適正空気圧、エンジンオイル等の管理	←————→												部門責任者	
運行管理の徹底		→ 最適運行最短距離の選択	←————→												管理責任者	
灯油使用量の削減	ストーブ温度管理の徹底	→ ムダなストーブを使用しない (冬季20℃～22℃)	←————→									←————→		部門責任者		
	退社時電源チェック	→ 目視確認 (最終退出者と同伴者)	←————→									←————→		部門責任者		
廃棄物の削減	一般可燃ごみ削減	→ 無駄なコピーをしない/不要な資料の削減	←————→												部門責任者	
		→ 再利用の促進 (コピー用紙裏表利用)	←————→												部門責任者	
	混合廃棄物の分別	→ 産業廃棄物と有価物の分別を確実にを行う	←————→												部門責任者	
水使用量の削減																
節水の徹底		→ 清掃時、手洗い時節水を各自徹底する	←————→												部門責任者	
環境に配慮した施工																
自らが提供する製品・サービスの環境性能の改善		→ 施工技術などの環境性能の改善	←————→												部門責任者	
グリーン購入																
環境に配慮した製品の優先利用		→ 社内利用の資材は、環境配慮製品を優先利用	←————→												部門責任者	

注)

2) 計画遂行サイクル

注) 各項目の実施については、ISO9001の活動とあわせ以下のとおり管理/推進する



【別紙 3】1) 実施結果 (成果) ~ 2) 評価 (課題・問題点など)  
**環境経営目標の実績と評価**

1) 目標及び計画に対する実績

				2021年2月1日~2022年1月31日					
項目	単位	前年実績 (2020年度)	2021年度 目標値 ⇒		2021年度実績 評価			備考	
C02総排出量 (kg-C02)	kg-co2	165,219	99%	163,567	92%	150,080	○	92%の削減効果あり	
電力 *1 (kWh)	使用量	kwh	103,555	99%	102,519	88%	90,454	○	削減効果あり
	排出量	kg-C02	46,807		46,339		40,885		
ガソリン (L)	使用量	L	47,051	99%	46,580	92%	42,675	○	削減効果あり 全27台
	排出量	kg-C02	109,158		108,066		99,006		
軽油 (L)	使用量	L	1,949	99%	1,930	122%	2,357	△	ディーゼル車:1台中途より 増により増加 代車など給油あり
	排出量	kg-C02	5,028		4,979		6,081		
灯油 (L)	使用量	L	1,688	99%	1,671	98%	1,641	○	冬季のみ
	排出量	kg-C02	4,203		4,161		4,086		
プロパンガス (m3)	使用量	m3	7.5	100%	7.5	96%	7.2	○	使用は長野のみ
	排出量	kg-co2	23		23		22		
産業廃棄物	可燃ごみ	kg	384	100%	384	100%	384	—	増加
	産廃(混合)		14,089	99%	13,948	117%	16,380	×	
上下水道 (m <sup>3</sup> )	水使用量	m <sup>3</sup>	560	100%	560	109%	612	×	増加
環境に配慮した 施工	施工物件ごと	件	7月よりの活動 であり具体的活 動に至らず	活動	月次にて取 組み検証を 行う	今後、実施状況を数値化するこ とを検討する		○	検討を要す
グリーン購入	件	グリーン購入に取り組んだ			取り組みを推進する		○	継続活動	

※1、中部電力(株) 2018年度二酸化炭素調整後排出係数 0.452kg-C02/kWhを使用

2) 実績の評価 (2021年2月1日~2022年1月31日)

<総括的評価>

①エコアクション21の本格的活動の初年度であり、全員の取組みが効果となりC02総排出量の減少となった。

(1) 電力

各拠点、事務所での使用電力の削減活動の効果が現れている

(2) 軽油、ガソリン

①ガソリンの使用量は、活動の成果により削減した

②年度の途中よりディーゼル車が1台から2台に増加し、使用量増加となった

(3) 灯油

削減活動の成果により減少した

(4) 産廃

昨年比で現場廃棄物の増加となった、今後の活動見直しが必要

(5) 上下水道

事務所内での水道利用のみであるが、微増となった…活動の見直しを行う

(6) 環境に配慮した施工

2021年度よりISO9001(施工品質計画書)に取り込み、月次での活動検証を実施しているが、具体的な取組みが見えない

(7) グリーン購入

事務・消耗品ならびに印刷物など環境に配慮した材質/製品に順次切替を実施している



【別紙 4】その改善に向けて  
代表者の全体評価と見直し・指示

項目		評価の内容	
全体評価	環境への取組みは適切に実施されているか	年間での二酸化炭素排出量の削減を達成した適切な取組みが実施されたと思われる	
	環境経営システムが有効に機能しているか	月次での管理状況も踏まえ、システム全体として問題なく有効に機能している	
対象	変更の有無	見直しの内容・指示	
見直しと指示事項	組織の概要	■あり / □無	最新情報に更新した
	環境経営方針	□あり / ■無	本年変更なし
	リスクと機会	■あり / □無	環境経営計画作成時、毎回見直しを行い、社内周知した
	適用範囲など	□あり / ■無	本年変更なし
	環境経営目標	■あり / □無	年度ごと見直し社内周知した
	環境経営計画	■あり / □無	年度ごと見直し社内周知した
	実施体制	□あり / ■無	本年変更なし
	手順書など	■あり / □無	手順書1（IoTドライブ手順書）見直し：改版した

【総括】

エコアクション21の本格的年間活動として初年度であったが、年間でのCO2削減という成果を得られた。今後さらに活動の範囲を広めるため教育を行い、改善を継続させていく。

【今後の見直し・指示】

- 1、継続して総CO2排出量の95%を締める、ガソリンならびに電力の使用量削減に特化した活動を指示する
- 2、ISO-9001の活動にあわせ年間を通じて環境に対する意識を高める指導・教育を行う  
(年5回の機会を活用する…マシナリビュー会議／内部監査（年2回）／品質管理委員会（年2回）)
- 3、各部門内にて月次における活動状況の検証を行い、活動見直しを行う

2022年3月22日

代表取締役 宮尾文夫



部門ミーティング（教育・研修風景）